



GOTサンプル画面 パナソニック電工SUNX社製 デジタルセンサモニタ機能 説明書

三菱電機株式会社



目次

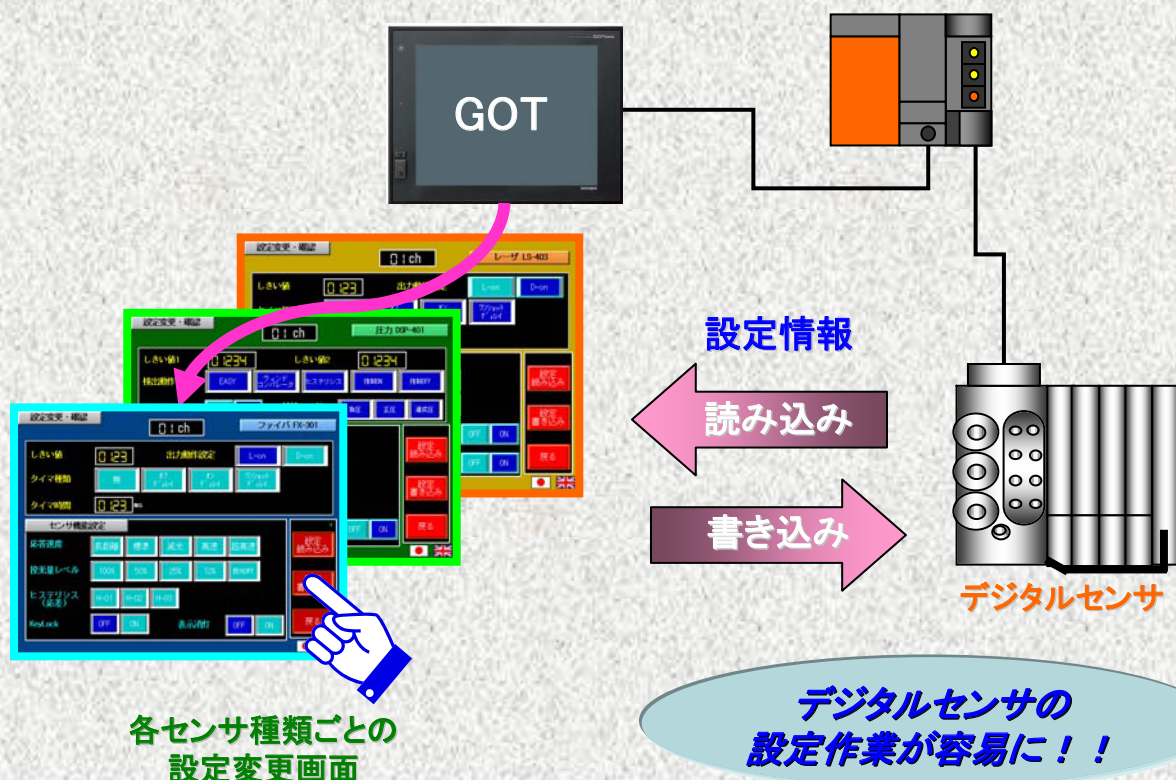
1. パナソニック電工SUNX社製
デジタルセンサモニタ機能の特長
2. 動作環境
3. サンプル画面操作方法
4. カスタマイズ時の変更点
5. 使用内部デバイス一覧



1. パナソニック電工SUNX社製デジタルセンサモニタ画面の特長

■ パナソニック電工SUNX社製デジタルセンサのしきい値、入光量/圧力値、出力状態の確認やしきい値と入光量/圧力値のトレンドグラフ表示、各デジタルセンサのマニュアル表示が行えます。また、GOT画面上にて各デジタルセンサのしきい値、出力動作、タイマ、応答時間などの各種設定やパナソニック電工SUNX社製CC-Link対応通信ユニット(SC-GU2-C/SC-GU3-01)のEXT. キースイッチの動作モード設定が可能です。

パナソニック電工SUNX社製デジタルセンサの各種設定情報が視覚的に確認でき、設定変更が容易に行えます。

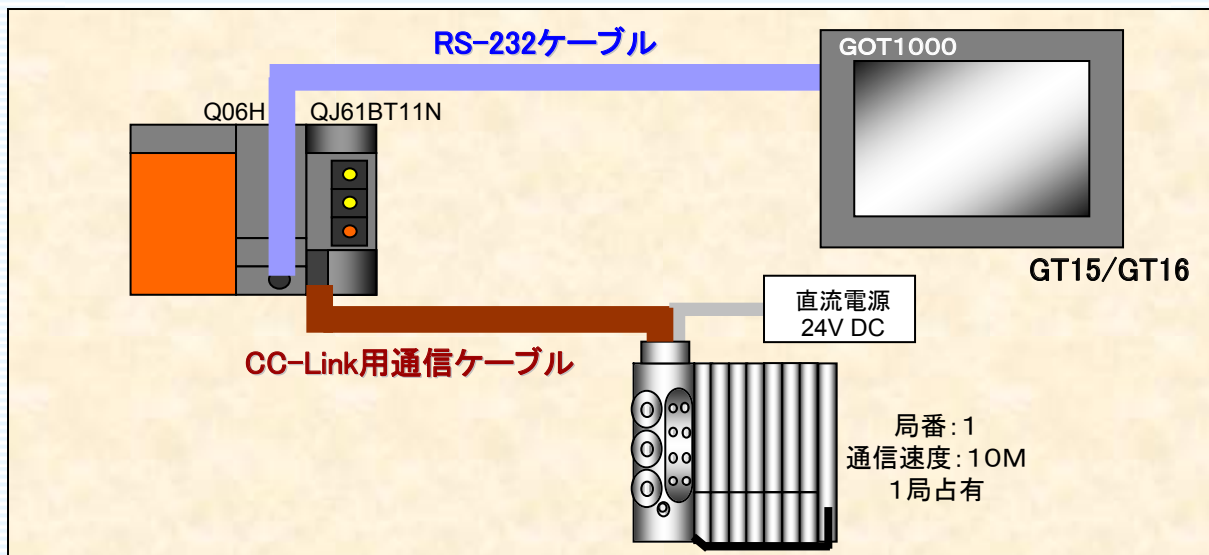


2. 動作環境

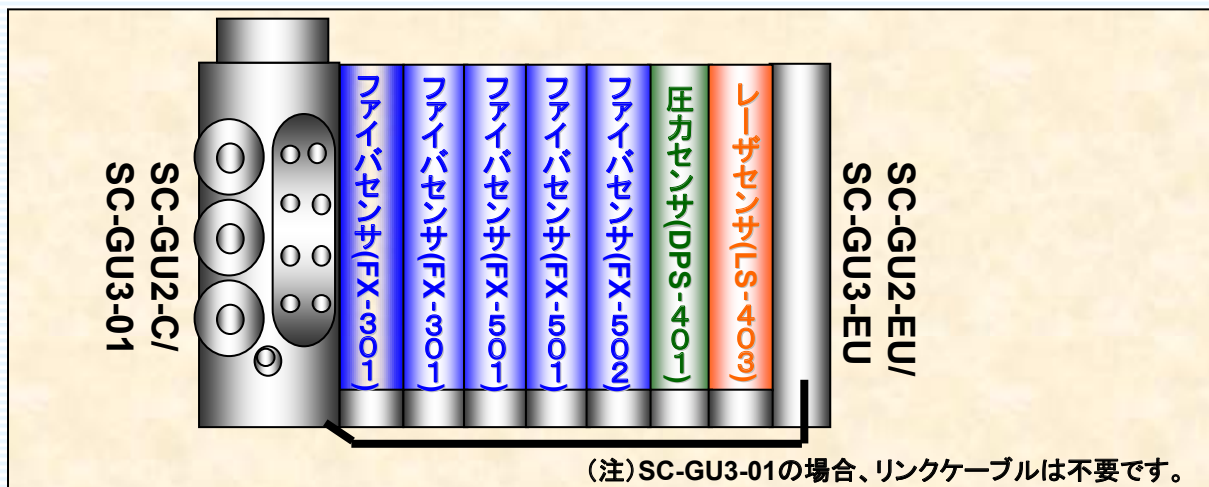
1. 適用システム構成

本サンプルでは、下記に示すシステム構成を想定しています。

①シーケンサ、GOT、デジタルセンサ接続構成



②デジタルセンサ単体構成



※接続方法につきましては、GOT1000シリーズ接続マニュアル、及び、使用するCC-Linkユニットのマスター・ローカルユニットユーザズマニュアル(詳細)、使用する各機材のマニュアル等をご参照下さい。

また、シーケンサの設定、シーケンスプログラムについては、SDM-0010-A.pdf(シーケンサ説明補足資料)をご参照下さい。

3. GT Designer2のバージョン

本サンプルは、Version 2.102Gで動作確認しています。

4. インストールが必要なOS

O S	項 目	容 量(kbyte)			備 考
		GT16		GT15	
		RAM	ROM		
通信ドライバ	-	150～230		0	GT16の場合は、接続対象等により容量が異なります。
オプション機能	ドキュメント表示	3072	150	2048	GT15の場合は、別途オプション機能ボードが必要となります。
	ロギング	710	380	740	

ドキュメント表示機能、ロギング機能のデータ格納用として別途CFカードが必要となります。

5. 注意事項

- 本説明書は、GT Designer2 Version2.102G版の内容について記載しており、別のバージョンを使用した場合と、設定内容や画面イメージが異なる場合があります。
- 本説明書では、細かい設定・注意事項等は記載しておりません。
各種オブジェクトの詳しい説明については、GT Designer2 Version2 画面設計マニュアルの3章「共通設定」、4章「オブジェクト設定の前に」、6章「ランプ、スイッチ」、7章「数値、文字表示」、11章「条件→動作(ロギング機能)」、15章「その他(ドキュメント表示機能)」、16章「スクリプト機能」などをご参照下さい。
- シーケンサとデジタルセンサ間でのデータ読み書き時に、タイムラグが生じるため、GOTの画面切替時に一瞬不正な値が表示され、その後正常な値が表示されます。本サンプルでは、スクリプト機能等により対応策をとっておりますが、使用状況に応じ設定変更を行って下さい。
詳細は、第4章「カスタマイズ時の変更点—『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。

3. サンプル画面操作方法

以下に画面説明、及び、操作方法を記載します。

1. デジタルセンサモニタ画面

デジタルセンサのしきい値、入光量/圧力値、出力状態の確認ができます。また、各スイッチをタッチすることにより、デジタルセンサの設定画面やスイッチ機能切換え画面、トレンドグラフ画面を表示します。

各チャンネルのセンサ種類の設定は、下記に示すとおりに初期設定しています。



初期状態での各チャンネル設定は以下の通りとなっています。

- 1～2ch : ファイバセンサ (FX-301)
- 3～4ch : ファイバセンサ (FX-501)
- 5ch : ファイバセンサ (FX-502)
- 6ch : 圧力センサ (DPS-401)
- 7ch : レーザセンサ (LS-403)
- 8～16ch : 未設定

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

2. 圧力センサ(DPS-401)画面

圧力センサ(DPS-401)の各種設定を確認、及び、変更できます。
各設定項目の詳細は、次ページに記載してあります。

センサのマニュアル表示画面を表示します。

設定変更・確認

01 ch 圧力 DSP-401

対象チャンネルが表示されます。

しきい値1① 01234 しきい値2② 01234

検出動作③ EASY ウィンドコンパレータ ヒステリシス 強制ON 強制OFF

N.O/N.C④ N.O. N.C. 接続ヘッド⑤ 負圧 正圧 連成圧

センサ機能設定

応答時間⑥ 0.15us 0.5us 1ms 5ms 10ms 50ms 100ms 500ms

ヒステリシス⑦ (応差) H-01 H-02 H-03

KeyLock⑧ OFF ON

表示消灯 (ECOモード)⑨ OFF ON

圧力センサの現在の設定情報を読み込みます。※1

画面上的の設定を圧力センサに書き込みます。※1

デジタルセンサモニタ画面に移動します。※1

設定読み込み

設定書き込み

戻る

各種設定を変更できます。
詳細は、次ページを参照してください。

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。

詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点 - 『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。



各設定項目の詳細を以下に記載します。

①. 出力1しきい値設定

	接続 ヘッド		データ	
			最小値	最大値
送信 データ	負圧	10進	-1013	51
		16進	H'FC0B	H'0033
	正圧	10進	-51	1020
		16進	H'FFCD	H'03FC
	連制圧	10進	-1013	1051
		16進	H'FC0B	H'041B

②. 出力2しきい値設定

	接続 ヘッド		データ	
			最小値	最大値
送信 データ	負圧	10進	-1013	51
		16進	H'FC0B	H'0033
	正圧	10進	-51	1020
		16進	H'FFCD	H'03FC
	連制圧	10進	-1013	1051
		16進	H'FC0B	H'041B

③. 検出動作設定

	データ	説明
送信 データ	H'0	出力1:通常出力
	H'1	出力1:ウィンドコンパレータ
	H'4	出力1:ヒステリシス
	H'5	出力1:強制ON
	H'6	出力1:強制OFF

④. 出力1N.O./N.C.設定

	データ	説明
送信 データ	H'0	出力1:N.O.
	H'1	出力1:N.C.

⑤. 接続ヘッド情報

	データ	説明
送信 データ	H'0	負圧ヘッド
	H'1	正圧ヘッド
	H'2	連成圧ヘッド

⑥. 応答時間設定

	データ	データ
送信 データ	H'0	150 μ s
	H'1	500 μ s
	H'2	1ms
	H'3	5ms
	H'4	10ms
	H'5	50ms
	H'6	100ms
	H'7	500ms

⑦. ヒステリシス(応差)設定

	データ	説明
送信 データ	H'0	H-01
	H'1	H-02
	H'2	H-03

⑧. KeyLock設定

	データ	説明
送信 データ	H'0	キーロックOFF
	H'1	キーロックON

⑨. 表示消灯

	データ	説明
送信 データ	H'0	Eco OFF
	H'1	Eco ON

3. レーザセンサ(LS-403)画面

レーザセンサ(LS-403)の各種設定を確認、及び、変更できます。
各設定項目の詳細は、次ページに記載してあります。

設定変更・確認

対象チャンネルが表示されます。 01 ch

レーザ LS-403

センサのマニュアル表示画面を表示します。

しきい値 ① 0123

出力動作設定 ② L-on D-on

タイマ種類 ③ 無 オフ デレイ オン デレイ ワンショット デレイ

タイマ時間 ④ 0123 ms

センサ機能設定

応答速度 ⑤ 長距離 標準 高速 超高速

受光感度 ⑥ レベル4 レベル3 レベル2 レベル1

ヒステリシス (応差) ⑦ H-01 H-02 H-03

レーザ ⑧ OFF ON

表示消灯 (ECOモード) ⑩ OFF ON

設定読み込み

設定書き込み

戻る

デジタルセンサモニタ画面に移動します。※1

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

各種設定を変更できます。
詳細は、次ページを参照してください。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。
詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点-『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。

詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点-『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。



各設定項目の詳細を以下に記載します。

①. 出力1しきい値設定

	応答時間設定	データ	
		最小値	最大値
送信データ	H-SP	10進	25
		16進	H'0019
	FASt	10進	25
		16進	H'0019
	Std	10進	36
		16進	H'0024
	U-Lg	10進	34
		16進	H'0022

②. 出力1入光動作モード設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	L-on(入光時ON)
	H' 1	d-on(遮光時ON)

③. 出力1タイマ動作設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	non(無)
	H' 1	oFd(オフディレイ)
	H' 2	ond(オンディレイ)
	H' 4	oSd(ワンショットディレイ)

④. 出力1タイマ時間設定

		データ	
		最小値	最大値
送信データ	10進	0	9999
	16進	H'0000	H'270F

⑤. 応答時間設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-SP(超高速)
	H' 1	FASt(高速)
	H' 3	Std(標準)
	H' 6	U-Lg(超長距離)

⑥. 受光感度設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	レベル1(最低感度)
	H' 1	レベル2(低感度)
	H' 2	レベル3(標準感度)
	H' 3	レベル4(高感度)

⑦. ヒステリシス

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-01(小さい)
	H' 1	H-02(標準)
	H' 2	H-03(大きい)

⑧. KeyLock

	データ	説明
送信データ	H' 0	キーロックOFF
	H' 1	キーロックON

⑨. レーザ放射防止

	データ	説明
送信データ	H' 1	ON(レーザ放射)
	H' 0	OFF(レーザ放射停止)

⑩. 表示消灯

	データ	説明
送信データ	H' 0	Eco OFF
	H' 1	Eco ON

4. ファイバセンサ(FX-301)設定画面

ファイバセンサ(FX-301)の各種設定を確認、及び、変更できます。
各設定項目の詳細は、次ページに記載してあります。

センサのマニュアル表示画面を表示します。

設定変更・確認

0.1 ch

ファイバ FX-301

対象チャンネルが表示されます。

しきい値 ① 0.123

出力動作設定 ② L-on D-on

タイマ種類 ③ 無 オフデレイ オンデレイ ワンショットデレイ

タイマ時間 ④ 0.123 ms

センサ機能設定

応答速度 ⑤ 長距離 標準 減光 高速 超高速

投光量レベル ⑥ 100% 50% 25% 12% 投光OFF

ヒステリシス (応差) ⑦ H-01 H-02 H-03

KeyLock ⑧ OFF ON

表示消灯 (ECOモード) ⑨ OFF ON

設定読み込み

設定書き込み

戻る

ファイバセンサの現在の設定情報を読み込みます。※1

画面上の設定をファイバセンサに書き込みます。※1

デジタルセンサモニタ画面に移動します。※1

各種設定を変更できます。詳細は、次ページを参照してください。

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。

詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点 - 『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。



各設定項目の詳細を以下に記載します。

①. 出力1しきい値設定

		データ	
		最小値	最大値
送信データ	10進	0	4000
	16進	H' 0000	H' 0FA0

②. 出力1入光動作設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	L-on(入光時)
	H' 1	d-on(遮光時)

③. 出力1タイマ動作設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	non(無)
	H' 1	oFd(オフディレイ)
	H' 2	ond(オンディレイ)
	H' 4	oSd(ワンショットディレイ)

④. 出力1タイマ時間

		データ	
		最小値	最大値
送信データ	10進	0	4000
	16進	H' 0000	H' 0FA0

⑤. 応答時間

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-SP(超高速)
	H' 1	FASt(高速)
	H' 2	S-d(減光)
	H' 3	Std(標準)
	H' 5	Long(長距離)

⑥. 投光量レベル

	データ	説明
送信データ	H' 0	E.oF 投光停止:OFF
	H' 2	12%
	H' 3	25%
	H' 4	50%
	H' 5	100%

⑦. ヒステリシス

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-01
	H' 1	H-02
	H' 2	H-03

⑧. KeyLock

	データ	説明
送信データ	H' 0	キーロックOFF
	H' 1	キーロックON

⑨. 表示消灯

	データ	説明
送信データ	H' 0	Eco OFF
	H' 1	Eco ON

5. ファイバセンサ(FX-501/502)設定画面

ファイバセンサ(FX-501/502)の各種設定を確認、及び、変更できます。
各設定項目の詳細は、次ページに記載してあります。

センサのマニュアル表示画面を表示します。

設定変更・確認

01 ch

ファイバ FX-501

対象チャンネルが表示されます。

しきい値 ① 0123

出力動作設定 ② L-on D-on

タイマ種類 ③ 無 オフデレイ オンデレイ オンオフデレイ ワンショットデレイ オンデレイワンショット

タイマ時間 ④ 0123 ms

センサ機能設定

応答速度 ⑤ ハイパー 超距離 長距離 標準 高速 超高速

投光量レベル ⑥ 高パワー 中パワー 低パワー

ヒステリシス ⑦ H-01 H-02 H-03 ティーチロック ⑨ OFF ON

KeyLock ⑧ OFF ON

表示消灯 (ECOモード) ⑩ OFF ON

設定読み込み

設定書き込み

戻る

デジタルセンサモニタ画面に移動します。※1

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。
詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点-『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。

※1. 操作ボタンは、上図の『⇒』部分(黄色)に、『*』マーク(緑色)が表示されている場合にのみ有効です。

詳細については、本説明書「4. カスタマイズ時の変更点-『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合」をご参照下さい。

各設定項目の詳細を以下に記載します。

①. 出力1しきい値設定

		データ	
		最小値	最大値
送信データ	10進	0	9999
	16進	H' 0000	H' 270F

②. 出力1入光動作設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	L-on(入光時)
	H' 1	d-on(遮光時)

③. 出力1タイマ動作設定

	データ	説明
送信データ	H' 0	non(無)
	H' 1	oFd(オフディレイ)
	H' 2	ond(オンディレイ)
	H' 3	onoF(オンオフディレイ)
	H' 4	oSd(ワンショットディレイ)
	H' 5	onoSd(オンディレイワンショット)

④. 出力1タイマ時間

		データ	
		最小値	最大値
送信データ	10進	0	9999
	16進	H' 0000	H' 270F

⑤. 応答時間

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-SP(超高速)
	H' 1	FASt(高速)
	H' 3	Std(標準)
	H' 5	Long(長距離)
	H' 6	U-Lg(超長距離)
	H' 7	Hyp

⑥. 投光量レベル

	データ	説明
送信データ	H' 0	25%~100%で可変
	H' 1	25%~100%で可変
	H' 2	25%~100%で可変

⑦. ヒステリシス

	データ	説明
送信データ	H' 0	H-01
	H' 1	H-02
	H' 2	H-03

⑧. KeyLock

	データ	説明
送信データ	H' 0	キーロックOFF
	H' 1	キーロックON

⑨. ティーチロック

	データ	説明
送信データ	H' 0	ティーチロックOFF
	H' 1	ティーチロックON

⑩. 表示消灯

	データ	説明
送信データ	H' 0	Eco OFF
	H' 1	Eco ON

6. 各センサのマニュアル表示画面

各センサ用のマニュアル(取扱説明書)を表示します。

マニュアル表示画面を消去します。

圧力 DSP-401

Panasonic 取扱説明書

ヘッド分離型・デジタル圧力センサコントローラ DPS-400シリーズ

1 各部の名称

Select1表示灯(黄色)
比較出力1動作表示灯(黄色)
Select2表示灯(黄色)
比較出力2動作表示灯(黄色)
デジタル表示部(緑色・黄色)
ジョグスイッチ
MODEキー

MODE表示灯-RUN(緑色)
MODE表示灯-ZERO(黄色)
MODE表示灯-NOINC(黄色)
MODE表示灯-OUT(黄色)
MODE表示灯-CUSTOM(黄色)
MODE表示灯-PRO(黄色)

小数点マーク(注1)(注2)
圧力単位(注1)

(注1): 上図は、遠程圧タイプまたは負圧タイプDPS-401の場合です。正圧タイプDPS-402の場合は、小数点マークの位置および圧力単位が異なります。
(注2): 小数点マークは、RUNモードおよびいきい値設定モード、ピーク・ボトムホールド機能のときに使用します。それ以外のモードでは関係ありません。

<操作部の説明>

ジョグスイッチ			MODEキー
押す	"+"側に倒す	"-"側に倒す	押す
各項目の決定に使用します。	各項目の選択に使用します。		モード選択および設定途中のキャンセルに使用します。

4 配線

ワンタッチケーブル(別売)の取り付けおよび取り外しは、必ず行ってから行なってください。

接続方法

① ワンタッチケーブルのコネクタ部を持って、本製品のコネクタ部上部のミツとワンタッチケーブルのコネクタ部上部のロック解除レバーを合わせます。
② "カチッ"と音がするまでコネクタを差し込みます。

取り外し方法

① ワンタッチケーブルのコネクタ部上部のロック解除レバーを押さえて、引き抜くと取り外せます。
(注1): ロック解除レバーを押さえないでコネクタ部を引っ張ると、ロック解除れまらずでご注意ください。ロック解除レバーが折れたワンタッチケーブルは、ケーブル部を引っ張るとケーブルが断絶するりますので、ご注意ください。

<端子配列図>

端子No.	端子名
(1)	+
(2)	-

マニュアルの表示範囲です。※1

マニュアルをスクロール表示します。

マニュアルを拡大・縮小表示します。

マニュアルのページ数を切り換えます。

※1. マニュアルデータは、CFカードに下記構成で格納し、GOTに装着してください。

A: ¥DOCIMG¥010・・・FX-301のマニュアルデータ

¥014・・・FX-501のマニュアルデータ

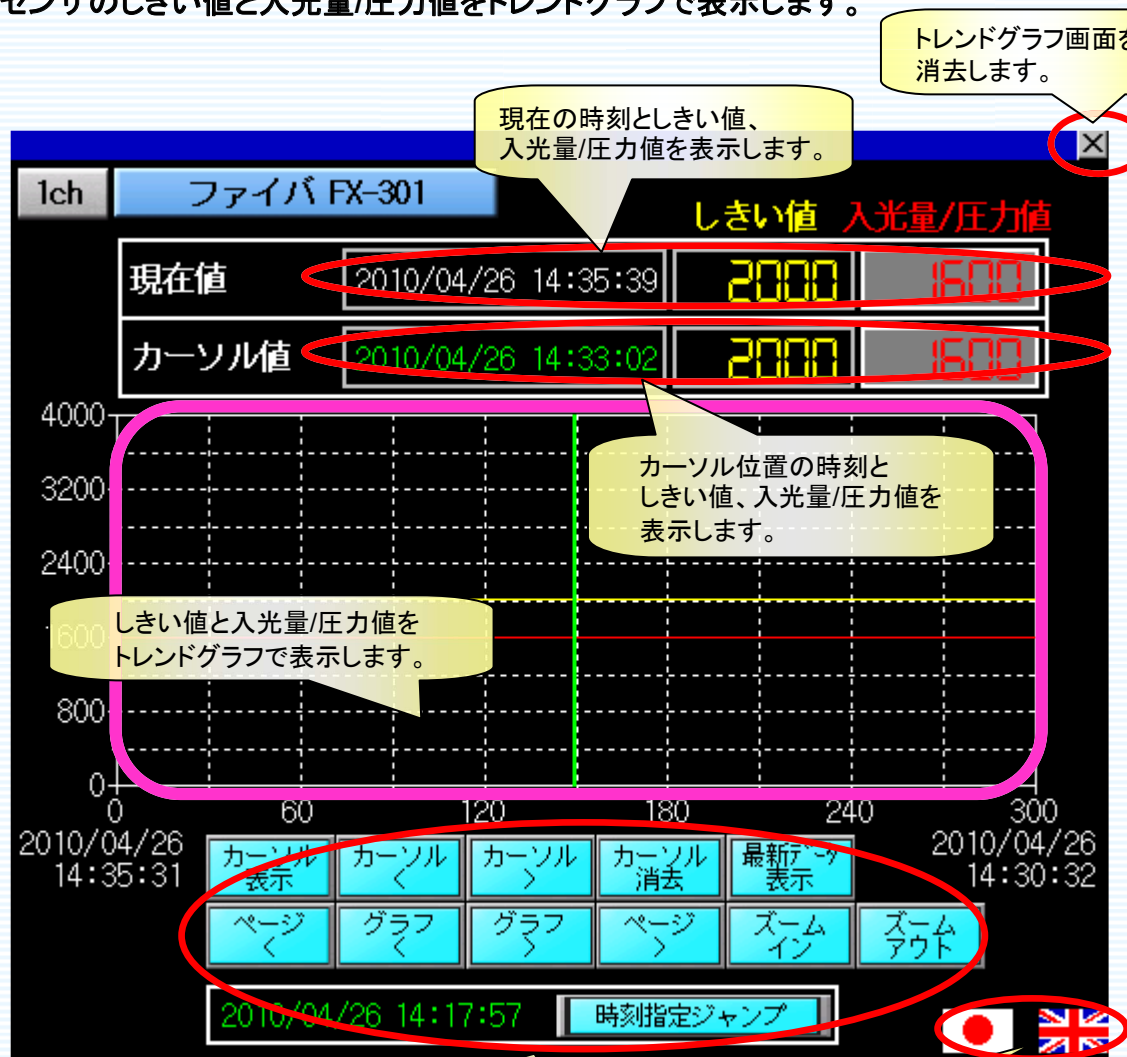
¥015・・・FX-502のマニュアルデータ

¥020・・・DPS-400シリーズのマニュアルデータ

¥020・・・LS-403のマニュアルデータ

7. 各センサのトレンドグラフ画面

各センサのしきい値と入光量/圧力値をトレンドグラフで表示します。

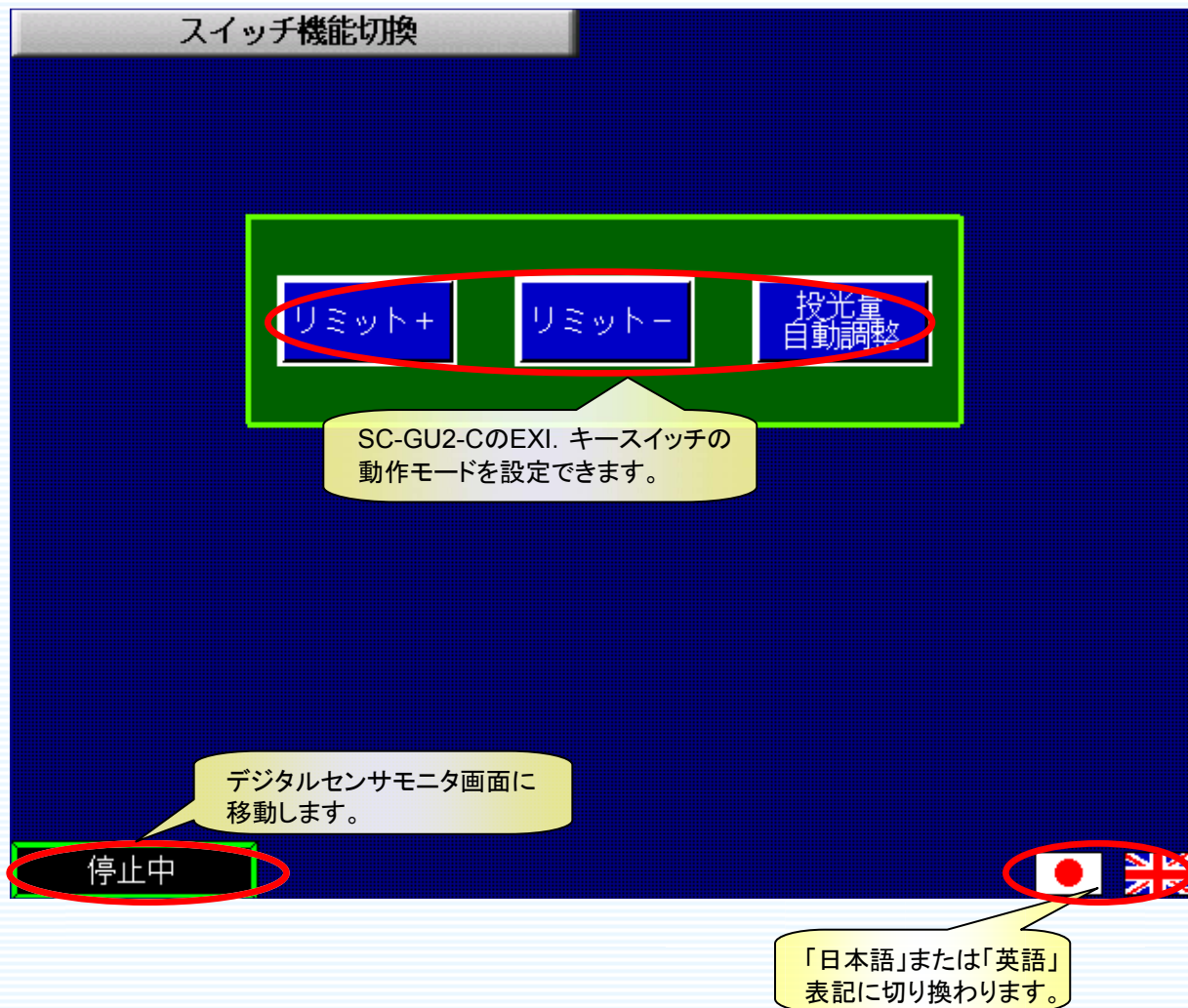


カーソル表示/非表示、カーソルスクロール、ページスクロール、グラフスクロール、最新データ表示、横軸スケールの拡大表示(=ズームイン)/縮小表示(=ズームアウト)、指定した時刻へのカーソルジャンプ表示ができます。

「日本語」または「英語」表記に切り換わります。

8. スイッチ機能切換画面

SC-GU2-CのEXT. キースイッチの動作モードを設定できます。



4. カスタマイズ時の変更点

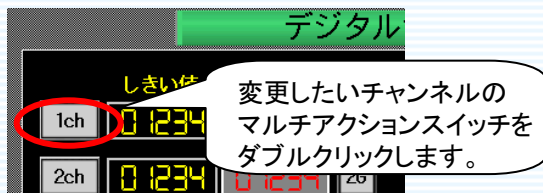
本サンプル画面において、下記に示すカスタマイズを行う場合の手順を記載します。

- ◎センサ種類を変更する場合
- ◎デジタルセンサを新たに設定する場合
- ◎『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合
- ◎数値入力の入力範囲を変更する場合
- ◎ヒストリカルトレンドの上限値、下限値を変更する場合

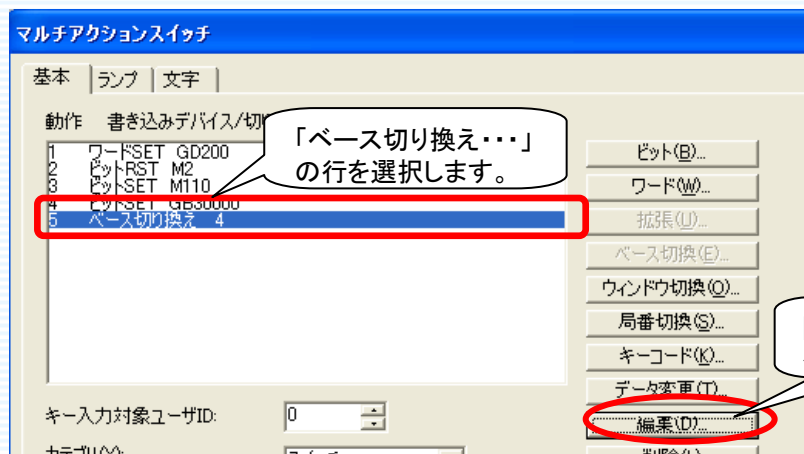
【センサ種類を変更する場合】

デジタルセンサ構成にあわせ、ベース画面「1 デジタルセンサモニタ画面」の「1ch～16ch」のマルチアクションスイッチの変更を行う必要があります。

- ①プロジェクトデータをGT Designer2より開きます。
- ②プロジェクトワークスペースより、「プロジェクト→ベース画面→1 デジタルセンサモニタ画面」を右クリックし、「開く」をクリックします。（ダブルクリックしても構いません。）
- ③ベース画面「1 デジタルセンサモニタ画面」上の、「1ch～16ch」のマルチアクションスイッチのうち、センサ種類の変更を行いたいスイッチをダブルクリックします。



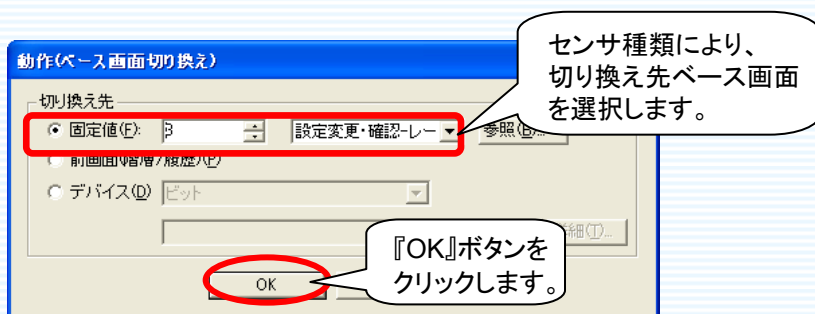
- ④(基本)タブの「ベース切り換え…」の行を選択し、『編集』ボタンをクリックします。



※処理が設定されている数、および、「ベース切り換え…」の行の位置は、チャンネルにより異なります。

⑤ 設定したいセンサ種類により、切り換え先の固定値を以下の通りに変更後、『OK』ボタンをクリックします。

- | | |
|----------|----------------------------|
| ・圧力センサ | : 「2: 設定変更・確認-圧力:DPS-401」 |
| ・レーザセンサ | : 「3: 設定変更・確認-レーザ:LS-403」 |
| ・ファイバセンサ | : 「4: 設定変更・確認-ファイバ:FX-301」 |
| ・ファイバセンサ | : 「5: 設定変更・確認-ファイバ:FX-501」 |
| ・ファイバセンサ | : 「6: 設定変更・確認-ファイバ:FX-502」 |



【デジタルセンサを新たに設定する場合】

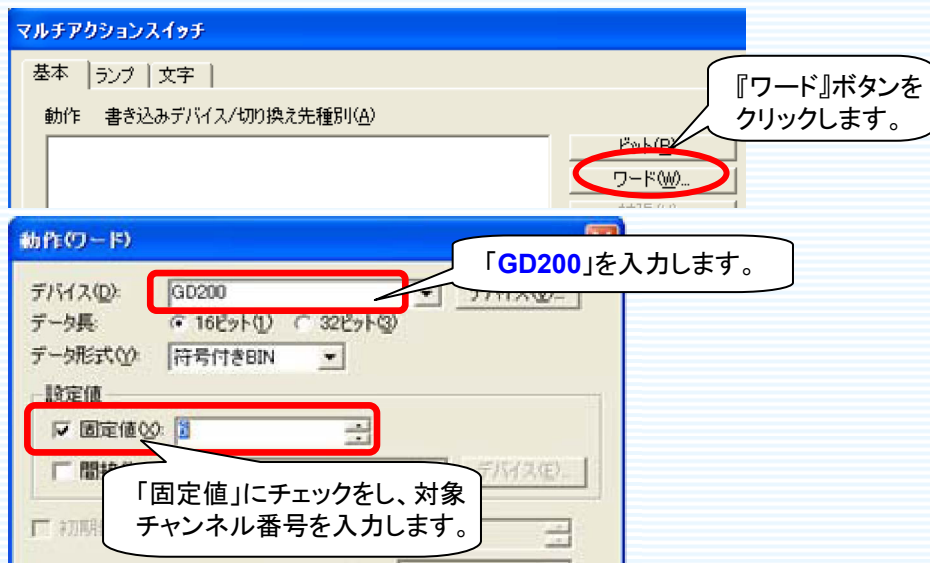
デジタルセンサ構成にあわせ、ベース画面「1 デジタルセンサモニタ画面」の「1ch～16ch」のマルチアクションスイッチの設定を行う必要があります。

- ① プロジェクトデータをGT Designer2より開きます。
- ② プロジェクトワークスペースより、「プロジェクト→ベース画面→1 デジタルセンサモニタ画面」を右クリックし、「開く」をクリックします。(ダブルクリックしても構いません。)
- ③ ベース画面「1 デジタルセンサモニタ画面」上の、「1ch～16ch」のマルチアクションスイッチのうち、デジタルセンサの設定を行いたいスイッチをダブルクリックします。



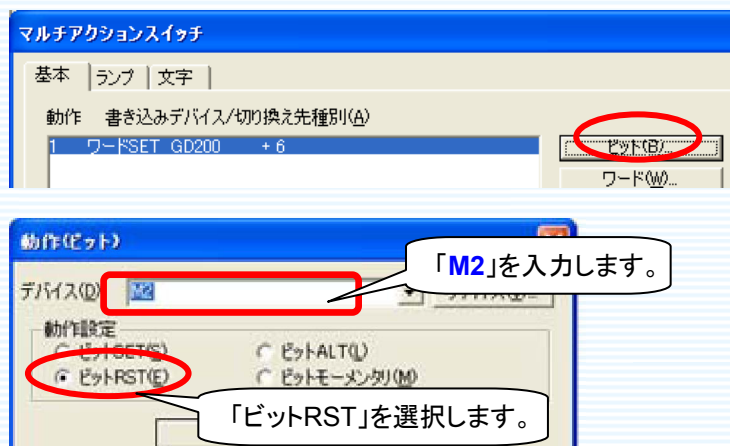
④(基本)タブの『ワード』ボタンをクリックし、以下のように設定後、『OK』ボタンをクリックします。

デバイス :「GD200」(固定)
設定値 :「固定」にチェック
「(対象チャンネル番号)」



⑤(基本)タブの『ビット』ボタンをクリックし、以下のように設定後、『OK』ボタンをクリックします。

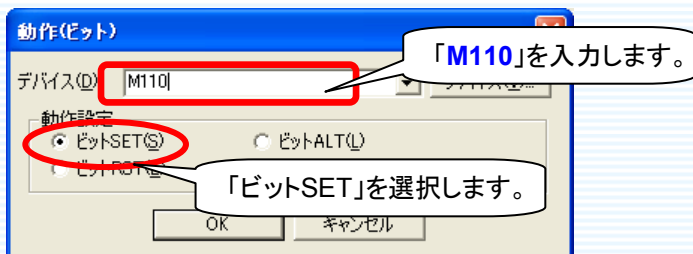
デバイス :「M2」(固定) 動作設定 :「ビットRST」を選択



⑥(基本)タブの『ビット』ボタンをクリックし、以下のように設定後、『OK』ボタンをクリックします。

デバイス :「M110」(固定)

動作設定 :「ビットSET」を選択



⑦各チャンネル毎に必要なビットSET処理を設定します。
ビットSET処理が必要なデバイスの考え方を以下に記載します。

【ビットSET処理が必要なデバイスの考え方】

チャンネルNo.をビットデバイス「Y1008～Y100F」のON／OFFを用いて表現します。
チャンネル1が、「00000000(Y100F…Y1008)」と表現されます。

(チャンネル番号－1)の値を2進数化し、「2⁰→2⁷」の桁の(0 or 1)の値を、それぞれビットデバイス「Y1008→Y100F」の(OFF or ON)に当てはめます。

例)	【チャンネルNo】	【(チャンネルNo.)－1】	【2進数化】 (Y100F … Y1008)	【SETするビット】
ch.No=1の場合:		0	→ 00000000	⇒ なし
ck.No=6の場合:		5	→ 00000101	⇒ 「Y100A、Y1008」

⑦-1. (基本)タブの『ビット』ボタンをクリックし、以下のように設定後、『OK』ボタンをクリックします。

デバイス :「Y1008～Y100F」(ONするビットデバイス)
動作設定 :「ビットSET」を選択



⑦-2. 必要な分、ビットSET処理の設定(⑦-1)を繰り返します。
※設定が必要なビットSET処理数は、チャンネルNo.により異なります。

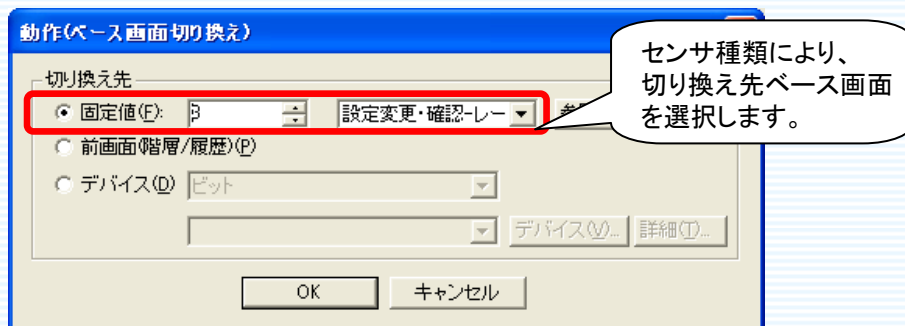
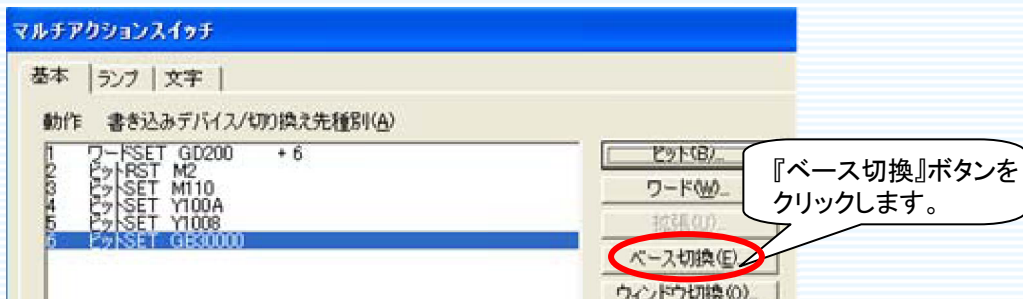
⑧(基本)タブの『ビット』ボタンをクリックし、以下のように設定後、『OK』ボタンをクリックします。

デバイス :「GB30000」(固定) 動作設定 :「ビットSET」を選択



⑨(基本)タブの『ベース切換』ボタンをクリックし、設定したいセンサ種類により、切り換え先の固定値を以下の通りに選択後、『OK』ボタンをクリックします。

- ・圧力センサ :「2:設定変更・確認-圧力:DPS-401」
- ・レーザセンサ :「3:設定変更・確認-レーザ:LS-403」
- ・ファイバセンサ :「4:設定変更・確認-ファイバ:FX-301」
- ・ファイバセンサ :「5:設定変更・確認-ファイバ:FX-501」
- ・ファイバセンサ :「6:設定変更・確認-ファイバ:FX-502」



- ⑩ ベース画面「1 デジタルセンサモニタ画面」上の、「1G～16G」のマルチアクションスイッチのうち、デジタルセンサの設定を行いたいスイッチをダブルクリックします。

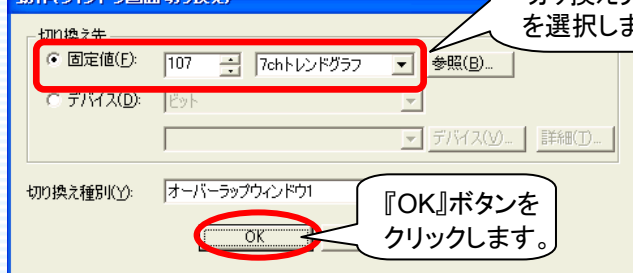


設定したいチャンネルの
マルチアクションスイッチ
をダブルクリックします。

- ⑪ (基本) タブの『ウィンドウ切換』ボタンをクリックし、切り換え先の固定値をチャンネルNo. により以下の通りに選択後、『OK』ボタンをクリックします。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ・チャンネルNo.1用トレンドグラフ | : 「101: 1chトレンドグラフ」 |
| ・チャンネルNo.2用トレンドグラフ | : 「102: 2chトレンドグラフ」 |
| ⋮ | ⋮ |
| ・チャンネルNo.15用トレンドグラフ | : 「115: 15chトレンドグラフ」 |
| ・チャンネルNo.16用トレンドグラフ | : 「116: 16chトレンドグラフ」 |

動作(ウィンドウ画面切り換え)

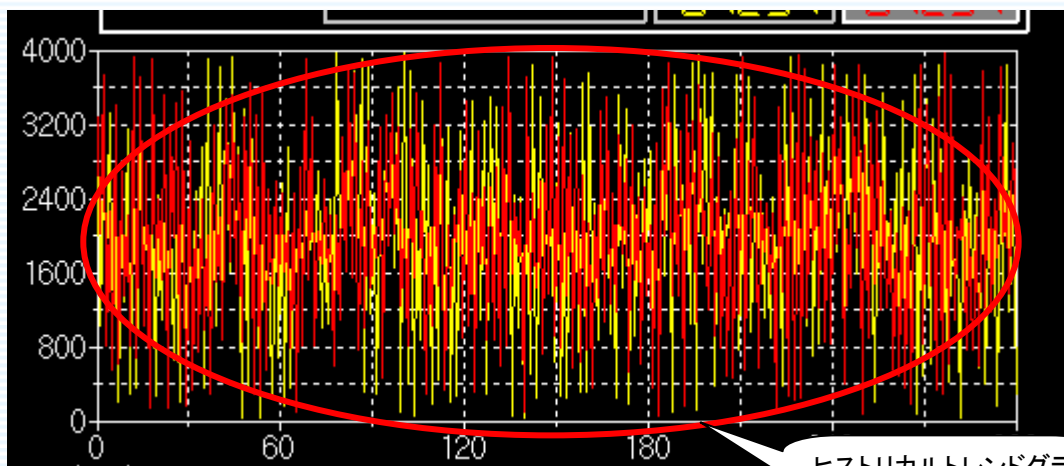


チャンネルNo.により、
切り換え先ウィンドウ画面
を選択します。

『OK』ボタンを
クリックします。

- ⑫ プロジェクトワークスペースより、「プロジェクト→ウィンドウ画面→(⑪で設定した画面)」を右クリックし、「開く」をクリックします。(ダブルクリックしても構いません。)

⑬ ウィンドウ画面上の、ヒストリカルトレンドグラフをダブルクリックします。



ヒストリカルトレンドグラフ
をダブルクリックします。

⑭ (基本) タブの表示形式の上限値(固定値)、下限値(固定値)を、設定したいセンサ種類により、以下の値に設定します。

デジタルセンサ	上限値(固定値)	下限値(固定値)
圧力センサ:DPS-401	1060	-1060
レーザセンサ:LS-403	10000	0
ファイバセンサ:FS-301	4000	0
ファイバセンサ:FS-501	10000	0
ファイバセンサ:FS-502	10000	0

ヒストリカルトレンドグラフ

基本 | デバイス | 目盛り | オプション

表示形式

グラフ本数(P): 2 ポイント数(I): 300

描画モード(Q): ペンレコ表示

データ長: ☒ 16ビット(1) ☐ 32ビット(3)

上限値: ☒ 固定値(F): 4000

下限値: ☒ 固定値: 0

センサ種類により、
上限値、下限値を
設定します。

- ⑮(目盛り)タブの目盛り数値表示の上限値、下限値を、設定したいセンサ種類により、以下の値に設定後、『OK』ボタンをクリックします。

デジタルセンサ	上限値	下限値
圧力センサ:DPS-401	1060	-1060
レーザセンサ:LS-403	10000	0
ファイバセンサ:FS-301	4000	0
ファイバセンサ:FS-501	10000	0
ファイバセンサ:FS-502	10000	0

ヒストリカルトレンドグラフ

基本 | デバイス | 目盛り | オプション

目盛り

軸位置(I): 左 右 上 下

☒ 主目盛り表示(M)
目盛り数(A): 目盛り色(C):

☒ 補助目盛り表示(S)
目盛り数(P): 目盛り色(O):

☒ 目盛り数値表示(E)
数値数(V): 数値色:

上限値(U): 下限値(L):

フォント(F):

数値サイズ(I): X (横 x 縦)

センサ種類により、
上限値、下限値を
設定します。

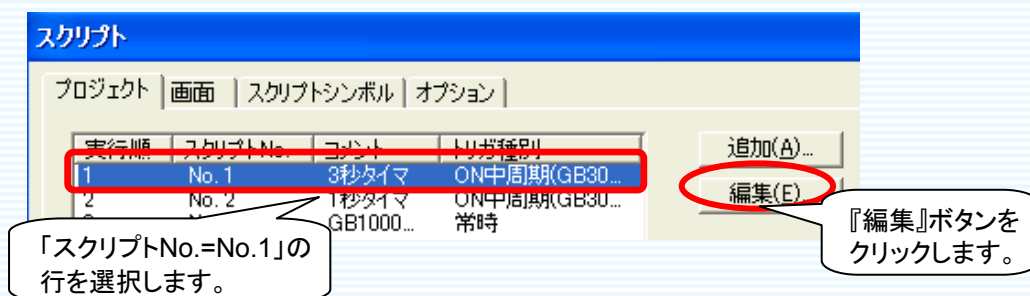
【『設定読み込み／書き込み、戻る』ボタンの有効設定時間を変更する場合】

【注意事項】

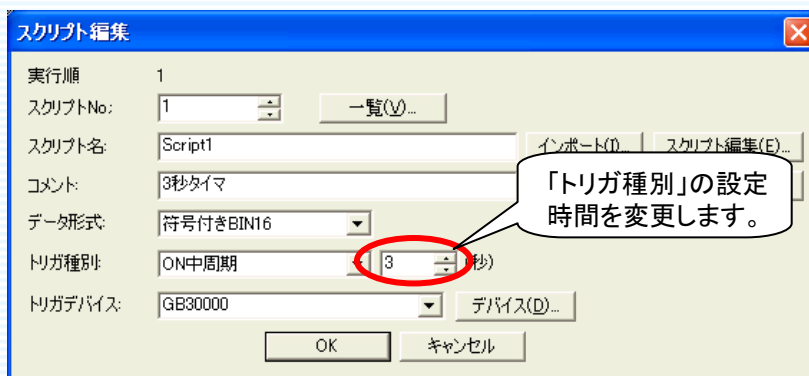
シーケンサとデジタルセンサ間でのデータ読み書き時に、タイムラグが生じるため、GOTの画面切替時に一瞬不正な値が表示され、その後正常な値が表示されます。そのため、『設定読み込み』、『設定書き込み』、『戻る』ボタンには、画面切り換え後などに一定時間は操作無効とする設定を行っております。

デジタルセンサの設定台数など使用状況により、タイムラグの大小は異なります。使用状況により有効設定時間を変更する必要がある場合は、以下の手順で設定変更を行って下さい。
(初期設定は、「3秒」となっています。)

- ①プロジェクトデータをGT Designer2より開きます。
- ②プロジェクトワークスペースより、「共通設定→スクリプト」をダブルクリックします。
- ③(プロジェクト)タブの「スクリプトNo.=No.1」の行を選択後、『編集』ボタンをクリックします。



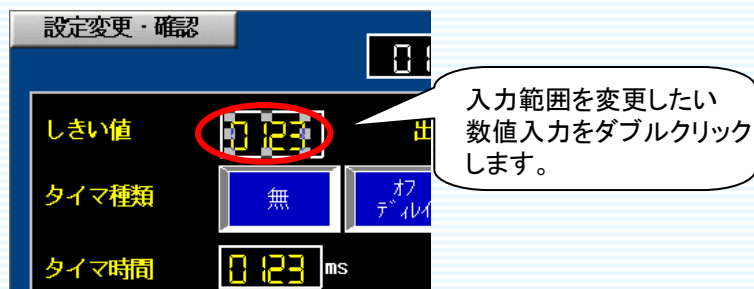
- ④「トリガ種別」の設定時間を、操作無効としたい時間に変更後、『OK』ボタンをクリックします。



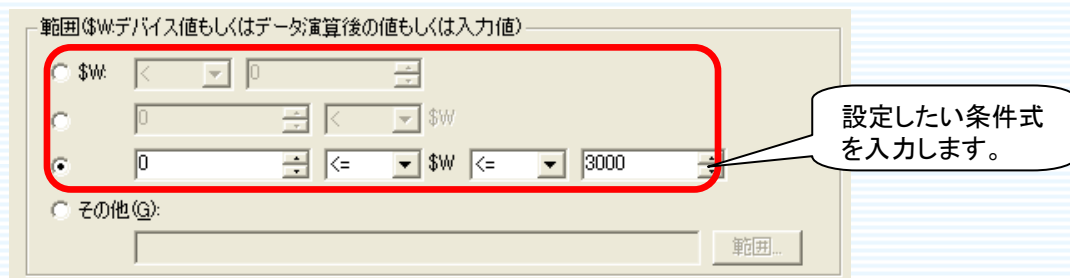
【数値入力の入力範囲を変更する場合】

各数値入力には、入力できる範囲設定を行っております。その入力範囲を変更したい場合、数値入力の設定を変更する必要があります。

- ①プロジェクトデータをGT Designer2より開きます。
- ②プロジェクトワークスペースより、「プロジェクト→ベース画面→(変更対象画面)」を右クリックし、「開く」をクリックします。(ダブルクリックしても構いません。)
- ③入力範囲を変更する数値入力をダブルクリックします。



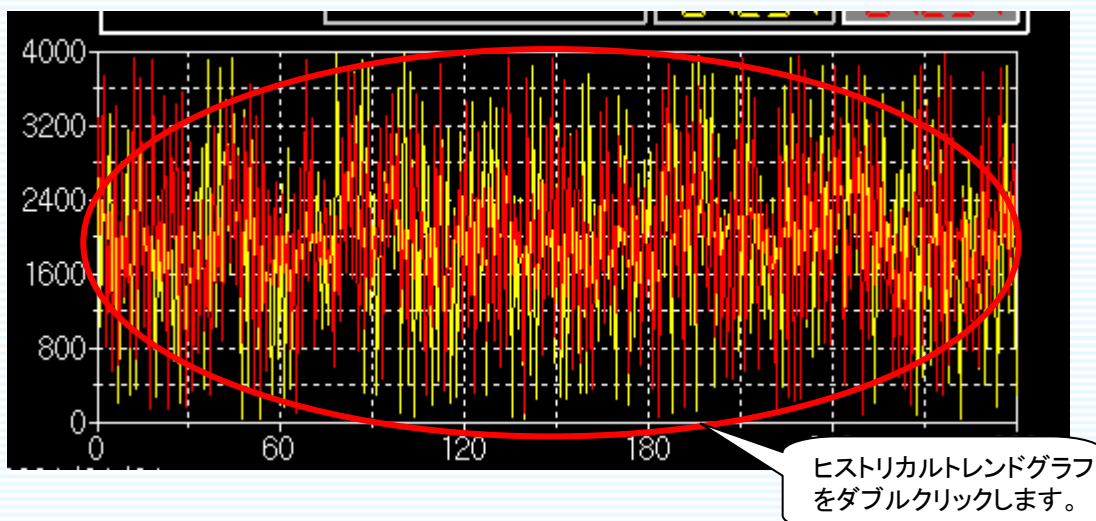
- ④(範囲設定)タブの「範囲」の条件式を変更後、『OK』ボタンをクリックします。



【ヒストリカルトレンドグラフの上限値、下限値を変更する場合】

ヒストリカルトレンドグラフの上限値、下限値を変更したい場合、ヒストリカルトレンドグラフの設定を変更する必要があります。

- ①プロジェクトデータをGT Designer2より開きます。
- ②プロジェクトワークスペースより、「プロジェクト→ウィンドウ画面→(変更対象画面)」を右クリックし、「開く」をクリックします。(ダブルクリックしても構いません。)
- ③ウィンドウ画面上の、ヒストリカルトレンドグラフをダブルクリックします。



- ④(基本)タブの表示形式の上限値(固定値)、下限値(固定値)を変更します。

⑮(目盛り)タブの目盛り数値表示の上限値、下限値を変更後、『OK』ボタンをクリックします。

ヒストリカルトレンドグラフ

基本 | デバイス | 目盛り | オプション

目盛り

軸位置(I): 左 右 上 下

☒ 主目盛り表示(M)
目盛り数(A): 目盛り色(C):

☒ 補助目盛り表示(S)
目盛り数(P): 目盛り色(C):

☒ 目盛り数値表示(E)
数値数(V): 数値色:

上限値(U): 下限値(L):

フォント(F):

数値サイズ(D): X (横 x 縦)

上限値、下限値を設定します。

【注意事項】

(目盛り)タブの目盛り数値表示の上限値、下限値には、(基本)タブの表示形式の上限値(固定値)、下限値(固定値)に設定した値と同じ値を設定してください。

5. 使用内部デバイス一覧

本サンプルで使用している内部デバイス一覧は、下記の通りとなります。
必要に応じて、ご変更ください。

使用しているデバイス		用 途
ビットデバイス	GB101	オフディレイ、ウィンドウコンパレータ
	GB102	オンディレイ、ヒステリシス
	GB1000	グラフ日付データ表示用のトリガ
	GB30000	スクリプト(ボタン有効/無効設定)起動のトリガ
	GB30001	「設定書き込み」等のボタン動作条件設定用
	GB30002	スクリプト(ボタン有効/無効設定)起動のトリガ
ワードデバイス	GD100	ベース画面切り換え用
	GD101	ウィンドウ画面切り換え用 (オーバーラップウィンドウ1)
	GD200	操作中チャンネルNo.格納用
	GD201	ページ番号指定用
	GD1000～	カーソル位置時刻格納用(4点)
	GD1004～	グラフ表示開始位置時刻格納用(4点)
	GD1008～	グラフ表示終了位置時刻格納用(4点)
	GD1012～	カーソル表示位置時刻指定用(4点)